



## 100年企業

先日、あるお客様で100年続いているって事を知りました。ちょうどそのお話を聞いてから数日後、その社長さんとお話しをする機会がありました。普段はあまりお話しをするタイミングがなかったのですが「この間、御社が100年続いている企業だって知りました！すごいですね！」と声をかけたら、たくさん教えてくれました。そのお客さんは保険屋さんだったので、開業当時は火災保険をメインにやっていたそうです。なぜなら岡崎は糸の町だったからだそうです。糸は燃えやすいので、火事には相当気を使っていたそうです。また100年前ですので、保険というものがまだそんなに知られていない頃だったので、苦労されたみたいでした。そして今の社長が若かりし頃、入社した時に車の保険もやり始めたそうです。最初は先代に「車なんか面倒だからやらなくていい!!」と言

われたらしいのです。しかし今から45年ほど前は、段々車の数が増えだした頃でもあったので、何とか説得して車の保険もやりだしたそうです。時代は進み、現在は車の保険と火災保険が半々だそうです。今考えると、あの当時無理してでも車の保険をやっていなかったら、商売できていなかったかもしれない…なんて話してくれました。どんな時代でも問題はあって、それを解決して、お客様に喜んでもらう事が長続きする秘訣なんだな～って感じました。ちなみに…気になったので、100年企業が何社あるか調べてみました。2017年で33,069社でした。(東京商工リサーチ) このうちの1社がこのお客さんなんて、ちょっと感激です！考えてみたら、中部ビジネスも42年間続いています。始めた当初は商品もほとんどなく、小さな町の文房具屋さんでした。それが今やパソ



コンや複合機をメインに扱うようになり、仕事の内容も42年前とはガラリと変わっています。今なんて、お客さんよりも社長の方が、文房具の事を知らないと思います(笑) 長い間、お客様に喜んでいただくのは、本当に大変なんだな～って感じました。また皆さんの会社の歴史とかぜひ聞かせてくださいね！



## 喜んでいただけました！のコーナー！

先日社長が帰社するなり「聞いてくれよ～今日、脱輪している女の人がいんだ。」話しを聞くとJAFを呼ぼうとしていたんだけど、社長がジャッキで持ち上げれば何とかかなと思う。って教えてあげて、そして20分位かけて何とか車も救出できたそうです。終わったから、「これで大丈夫だと思うよ!」って声をかけたらその女性は早口で「ありがとうございました」と一言だけ言ってさっと立ち

去ってしまったそうです。社長は車の底とかドブとかも触っていたので手は真っ黒…。しかもその日はまだ暑い日で、顔も汗だく。目の前にはローソンもあって作業で20分もかかっていたので、お金をくれ～ってわけじゃないけど「これ飲んでください!」ってお茶位くれてもいいんじゃない?って愚痴っていました。結局、手が真っ黒だったので、コンビニで手を洗わせてもらい、お礼に自分でコーヒーを

買って帰ったんですって。なんか良い事したのにモヤモヤするのはなんでだろう…って話してくれました。社長! そんな見返りを求めているのは立派な大人になれませんよ。誰かが喜んでくれたんだから、それでいいじゃないですか! (笑)

## みんなのひとり言

1月から新人の清野君が入社してくれました。年齢はなんと25歳!!中部ビジネスの平均年齢が一気に下がりますね(笑) そんな清野君ですが、素敵だな～って思ったのが、入社してすぐに「これ、皆さんで食べてください!」とお菓子を持ってきてくれました。これからお世話になるので、その気持ちだそう。なんて素敵な青年なんだろう…こんなに気が使える、素敵な人が仲間に加わってくれて、うれしいです。皆さんも清野君を見かけたら、声をかけてあげてくださいね!

## 今月の格言!

行動力と持続力が

全てを制する

(ベンジャミン・フランクリン)

世の中の成功した人すべてが必ず持っている物ですね。

そして、失敗ばかりしている私には一番難しい課題です…